

我が国初の实用高消化性ソルガム

ソルガム「葉月」の播種量を 多くした無農薬栽培



「食の安全」が求められている今、家畜のエサとなる飼料作物の栽培に除草剤はできるだけ使いたくありません。そこで、我が国初の实用高消化性ソルガム「葉月」の除草剤を使わない雑草抑制技術を紹介します。

社団法人日本草地畜産種子協会

技術のポイント

【品種】葉月（我が国初の実用高消化性ソルガム）



【播種】散播

ロータリ耕起後、速やかに播種します。遅れると雑草を抑制できません。

播種適期は平均気温が15に達した頃
(寒冷地南部では5月下旬～6月中旬)



【播種量】5～8kg/10a

1m²あたり200個体以上を確保するように播種量を決定します。播種後は浅いロータリ攪拌と鎮圧を行って出芽を促進し、定着数を確保します。



【除草剤】原則として使用しません。

圃場条件等により、どうしても必要な場合は、アトラジン水和剤を1回のみ土壌処理します。

【収穫】出穂期を目安に収穫します。「葉月」は茎葉が柔軟でベール・ラッパ体系にも適しています。刈り遅れに注意すれば、年2回刈りが可能です。



モアによる刈取り



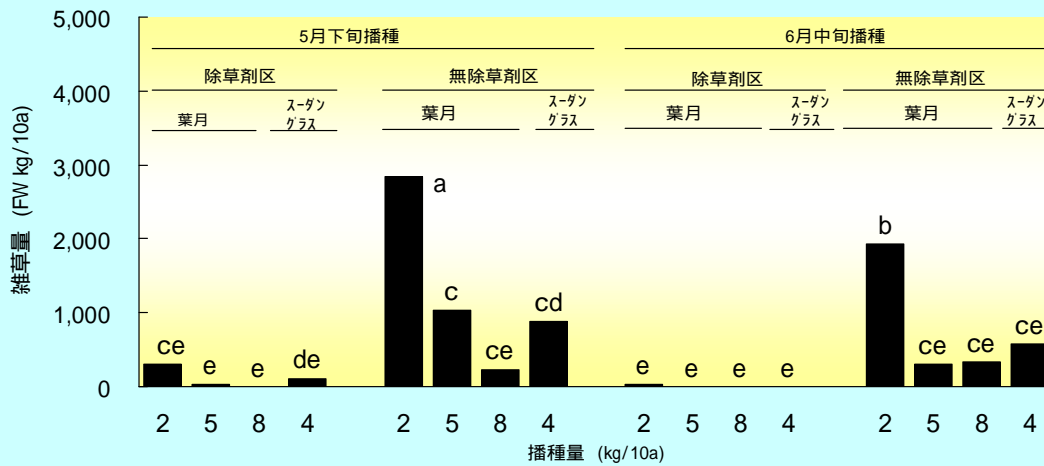
カッティングロールベ - ラによる梱包



ラッピング処理

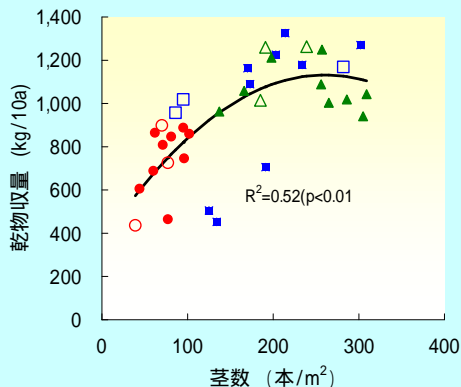
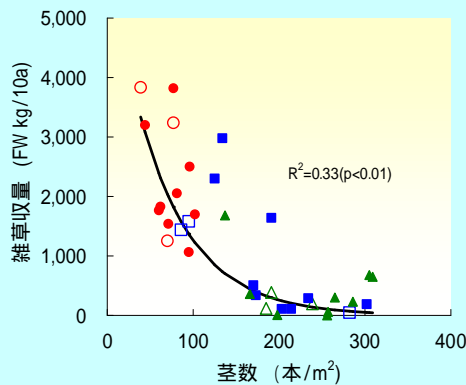
ポイント!ただし、条播の場合は細断型ロールベ - ラでも収穫可

播種量と雑草量の関係



播種期, 除草剤の有無, 播種量の違いが1,2番草収穫時の雑草量(合計値)に及ぼす影響 (2001年).
ヘイスーダンは「HSK-1」. 棒上のアルファベットで異符号間のものに5%水準で有意差あり.

ポイント! ソルガム「葉月」の栽培では、播種量を多くすることにより雑草抑制効果があがります。



無除草剤栽培における1番草収穫時のソルガム茎数と雑草重量および乾物収量の関係(1999～2001年).
○:5月下旬・2kg, ●:5月下旬・5kg, ▲:5月下旬・8kg, □:6月中旬, 2kg, △:6月中旬, 5kg, ○:6月中旬, 8kg(播種日・播種量(/10a))

ソルガム個体数を200本/m²確保することで、雑草抑制と最大収量が得られます。

問い合わせ先

長野県中信農業試験場

飼料環境部

〒399 - 0711 長野県塩尻市片丘10931 - 1 TEL:0263 - 52 - 1188